

～ 看護職員の人材不足解消のために ～

# 看護師等が離職される際は、 代行届出によるご協力をお願いします

## 代行届出とは？

(※) ナースセンターへの届出は、法律上の努力義務となっています。

保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながら、その仕事に就いていない方の復職支援のため、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターへ届け出いただく制度が、平成27年10月から始まっています(※)。

届出は、ご本人に行っていただく他、病院等の開設者が看護職員に代わって一括して行っていただくことも可能で、これを「代行届出」といいます。これまで育てた職員が離職することは残念なことです。が、免許を活かして他の病院等で再び活躍していただき、ともに地域医療を支えていく看護職員の確保へとつなげるため、代行届出にご協力ください。

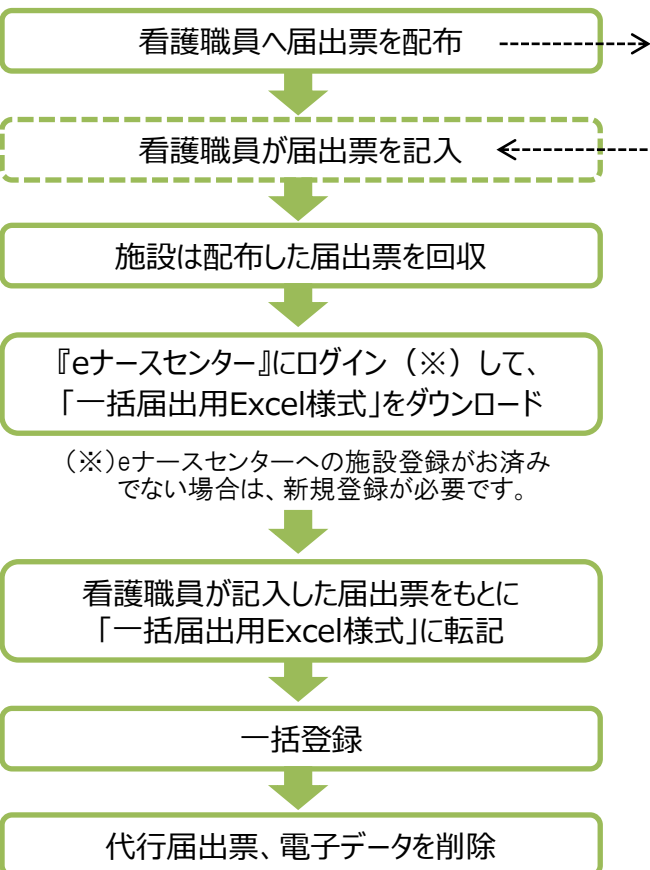
## 代行届出はインターネットで！

代行届出の際は、①対象の看護職員に届出票（代行届出用）を配布して記入してもらい、②『eナースセンター』\* から「一括届出用Excel様式」をダウンロードして①の内容を転記、③アップロードするだけで、簡単にいきます。なお、届出後には、都道府県ナースセンターから看護職員に電話やメール等により復職に向けた連絡や支援が行われますので、その旨を看護職員にお伝えください。

\* 『eナースセンター』は、ナースセンターが運営する無料の求職・求人サイトです。

## 代行届出の手順は簡単です！

【届出票】『eナースセンター』からダウンロードできます。



代行届出用

### 届出票

太枠内の項目に記入してください。 \*は記入必須項目です。  
選択肢に番号があるものは1つ選択し、○をつけてください。

記入年月日（西暦） \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」第16条の3第1項に基づき、以下のように届け出ます。

氏名 (*)		フリガナ _____	フリガナ _____
		姓	名
生年月日 (*) (西暦)	年 ____ 月 ____ 日	性別 (*)	1. 女性 2. 男性
現住所 (*)	都道府県	〒	
	住所番地		
電話番号1 (*)	- - -	電話番号2	- - -
FAX番号	- - -		
メールアドレス1 (*)		メールアドレス2	
保健師免許	免許の有無 (*)	1. あり	登録番号
		2. なし	登録年月日 昭和・平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
助産師免許	免許の有無 (*)	1. あり	登録番号
		2. なし	登録年月日 昭和・平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
看護師免許	免許の有無 (*)	1. あり	登録番号
		2. なし	登録年月日 昭和・平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
准看護師免許	免許の有無 (*)	1. あり	登録番号
		2. なし	登録年月日 昭和・平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
		届出都道府県	
就業状況 (*)		1. 就業していない 2. 就業していないが求職中 3. 就業中・就業予定（看護師等） 4. 就業中・就業予定（看護師等以外） 5. 学生 6. その他	

電話番号やメールアドレスの記載漏れによりナースセンターが連絡の取れない事例があります。離職後も必ず連絡の取れる電話番号やメールアドレスの入力を促してください。

# ナースセンターへの届出がきっかけで、 再び、輝いて働く看護職員の声

## 子育て中の私でも、無理なくお仕事を再開できました！



### ○ 届出のきっかけは？

私は、子育てを理由に離職しましたが、届出制度が開始していましたので、代行届出の手続きをしました。知り合いから、届出をすると復職に役立つ研修や交流会の情報が定期的に届くと聞いていました。

### ○ 届出後にどのような復職支援がありましたか？

届出後、夫の転勤のため別の県に転居しました。転居後、看護師等の届出サイト「とどけるん」(※)から届出情報の住所を変更したところ、ナースセンターとハローワークが連携して実施している就職相談の開催案内が送られてきました。

私は、できれば仕事を続けたいと思っていましたが、初めての子育てと仕事をどのように両立させればよいか迷い、子どもを連れて相談会に参加しました。そこで、ナースセンターの相談員のお話から、今は、多様な雇用形態や勤務形態があり、看護職が活躍できる場所が広がっていることを知りました。そして、子どもの緊急時でも協力体制が組まれていて多くの子育て世代が勤務している求人施設があることを教えていただき、「私でもできるかも」と思うことができました。

### ○ 復職先と、復職して感じていることを教えてください。

後日、そうした求人施設の中でも家から近い慢性期病院に見学に行きました。そこで看護部長さんから「人手が必要な時間帯の2時間でも3時間でも構わない、働いて欲しい」と言われ、それならできかなと思ひ、働くことを決めました。私は病棟での看護が好きです。忙しい時間帯のケアができるなら、これまでの子育て中の経験も生かすことができ、毎日、嬉しい気持ちで仕事に行っています。

(※)「とどけるん」は、離職時等に看護師等がスマートフォンやパソコンなどインターネットを通じて、自分で届出を行えるウェブサイトです。登録をした後にログインすると、お住まいの都道府県ナースセンターの最新情報(相談会、研修などの企画)を確認することができます。

## 定年退職の際、勤め先の病院で代行届出してもらい再就職できました！

### ○ 届出のきっかけは？

長年勤めた病院を定年退職する際、看護部長から届出制度やナースセンターについて教えていただき、届出を代行してもらいました。当時の私は、定年というこの時期に自分にとって何ができるのかという思いや、やってみたいことを探したいという思いがありました。

### ○ 届出後にどのような復職支援がありましたか？

届出者を対象にしたナースセンターの相談会の開催案内が来ました。その相談会で、今後、地域での活躍が見込まれる訪問看護に興味を持ったのですが、私には訪問看護の経験がありません。そんな私に、相談員が、ナースセンターで実施している「訪問看護導入研修」受講を勧めてくれました。そして、研修の受講後には、届出者を対象としたセカンドキャリアの交流会の開催案内をいただき参加しました。交流会では、訪問看護の経験がある方々からお話を伺うことができ、訪問看護で働きたいという気持ちが強くなりました。

### ○ 復職先と、復職して感じていることを教えてください。

ナースセンターの紹介で、訪問看護の機能も持つ看護小規模多機能型居宅介護事業所へ就職しました。私は、今、患者さまと触れ合うことにやりがいを感じ、自分を必要としてくれる場所で働いていることに喜びを感じています。

届出制度と  
ナースセンターを  
利用した場合の  
メリット

○ 同じ看護職が親身に相談に応じ、就職後もサポートします！

○ あなたにあった勤務形態の施設をご紹介します！

○ 様々な復職のための研修を準備しています！

離職後、時間が経過している方に…/未経験の施設が不安な方に…

○ 交流会で経験者からの話が聞けます！